

ボーリングマイスター 『匠』東北に認定されて

株式会社東開基礎コンサルタント 畠山 秀美



この度、株式会社ダイヤコンサルタント様の推薦で「ボーリングマイスター（匠）東北」に認定していただき、大変光栄なことと感じております。まずは、これまでご指導、ご鞭撻して下さいました関係者の皆様に御礼を申し上げます。

ボーリングの仕事を始めて30数年になりますが、思い返せば本当にあつという間でした。数多くの現場を経験しましたが、記憶に残っているのは苦勞した現場ばかりで、するすると予定どおりに終わった現場はさっぱり記憶にありません。

山奥に苦勞して資機材を運んだ現場、大雪で毎日除雪ばかりでさっぱり進めなかった現場、コアがうまく取れなくて何度も掘り直しをした現場、孔内事故を起こし復旧まで大変な苦勞をした現場など、苦勞した現場ばかり思い出されます。とはいえ、こうした苦勞の中でどうやったらうまくいくのか、早く進められるのかを考え、またまわりの人たちから教えてもらい、失敗の繰り返しの中で技術を磨いてきた、というのは皆さん変わりないのではないのでしょうか。

私はここ10年程、主にダム、原発関係の業務を中心にして仕事をしていますが、ツールの改良もあり、ボーリング技術は昔とは比べ物にならないほど進化していると感じます。特にコアの品質は、ビットや掘削泥水の改良と送水管理の厳密化で本当によくできています。いわゆる高品質ボーリングの普及です。私もこうした流れの中で今回のボーリングマイスターに認定されたものと考えています。

東日本大震災の後も繰り返す自然災害のなかで、ボーリングの重要性はますます大きくなってきていると思いますが、

一方でボーリングオペレーターの高齢化が進み、引退していく先輩方も増えていきます。若い人たちも入ってきてはいますが、引退していく人に比べると、入ってくる人たちが少ないなあと感じています。

そもそも「ボーリングマイスター（匠）東北」の設立趣旨には以下のように書かれています。

「地質調査およびボーリングオペレーターの社会的地位の向上をはかる」

「ボーリングオペレーターがやりがいを見いだせる基盤を構築する」

私たちの毎日の仕事、社会的に広く認められ、若い人たちが希望を持って入ってくるような業界になってほしいものだと思います。

私もいつの間にか会社のオペレーターのなかでは最年長になってしまいました。だんだん体の無理もきかなくなりつつあり、これからどれだけ現場で頑張れるか少々不安なところもあります。次の世代の人たちに習得したボーリング技術を伝えていくことが自分のこれからの仕事だと思っています。

「若手の育成を含め、優れたボーリング技術の伝承を図る」という、ボーリングマイスターの目的のため頑張りたいと思います。



高倉ボーリング 高倉 和一



この度、ボーリングマイスター（匠）ご認定いただき、大変光栄に思います。今まで、一緒に現場で苦勞してきた仲間達、地質コンサルタント会社およびボーリングを教えてくださいました先輩方のおかげだと心から感謝しております。この場を借りて、皆様にお礼申し上げます。

私は、ボーリング業界では若手の部類に入ると思いますが、通常のボーリング以外にもワイヤーライン工法や温泉掘削など、幸いにも多くの様々な経験をさせていただきました。その経験は、泥水管理、大深度ボーリングでの注意点および掘削中の孔内の状態がイメージできる事等、自分の技術力の基礎になっていると思います。

最近では、メーカーさんの開発も進んでボーリングのツールスが良くなったこともあり、オペレータ間の個人差が少なくなっていると思います。

しかし、地層に合わせた回転数、水量、

水圧等をデータ化して共有する事ができれば、新しく業界に入った若い方に、ボーリングについてわかりやすく説明し、この仕事の魅力ややりがいを、より良く伝える事ができると思います。

私が、ボーリング掘削する際は、特に水に気を付けるようにしています。孔内水位の変化に留意しつつ、水圧・水量を地質に合わせて細かく調整しながら掘削する事を心掛けています。

最近、働き方改革等仕事のやり方も変わっていく中で、今後は、後輩の育成、作業品質の向上および安全作業に努力していきたいと思います。

また近年、災害も多く発生しているため、自分たちの身を守りつつ、災害復旧・復興事業にたずさわる事で社会貢献し、地質調査業界の発展の一助となるよう努めてまいります。

この度は、この様な機会を与えていただき、誠にありがとうございました。